

ASK ニュース

Vol.0198

2016年4月4日(月)

担当：MS事業部 北野

〒460-0002 名古屋市中区丸の内 3-22-21

損保ジャパン日本興亜名古屋ビル 1F

ASK 税理士法人

TEL 052-971-1122 FAX 052-971-4488

訪日外国人

はじめに

東京オリンピック開催もあり、2020年には旅行者を15年前の2倍となる年間4000万人に引き上げ日本での消費を2倍の8兆円に増やす目標を政府は、打ち出しました。

この目標に向かい、訪日外国人のために様々な政策を考えています。

地図記号

国土地理院を外国人が理解しやすいような地図記号を検討し15種類を指定しました。これは、従来の地図記号から変更されるわけではなく、併用することになります。

具体的には、観光客が利用するホテルや病院などに使用したり、観光案内などで配る地図などに使用することを想定しています。

例えば、郵便局は手紙のようにコンビニはサンドウィッチとペットボトルにしたりとわかりやすい記号となります。

ホテル容積率緩和

また、国土交通省は、急増する訪日外国人に対応するため、ホテルの新築や建て替えを行う際に今までと同じ敷地面積でもこれまでより大きな

ホテルを建てられるように建物の容率も緩和する方針を打ち出しました。つまりは、階数をふやし、客室も多くすることができるようになります。

これにより、老朽化した建物をホテルに立替え観光客を誘致できるようにつながるのではないかと考えられます。

おわりに

これだけ増加する訪日外国人に向け地方都市でも、ビジネスを考えない手はありません。どのようにしたら、自社のサービスに外国人が来店するかこれからのビジネス拡大には、不可欠な要素となります。

